



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年7月13日
文責 八木幸夫

部活動適正化に関する 小国小児童・保護者へのアンケート結果

本校では生徒数の減少に対応した適正な部活動の設置について検討してきました。平成30年度には、令和3年度までに「男子のチーム競技の3つの部（野球、サッカー、バレーボール）を2つに減じる。」方針を確認し、検討を進めてきました。町スポーツ協会、スポーツ少年団指導者協議会等で方針を説明させていただきご意見をいただく機会を設けながら、学校運営協議会、コーチ・保護者会長等でもご意見をいただけてきました。この度、昨年度に引き続き、小国小学校の4年生から6年生の男子児童及びその保護者の皆さんに、ご意見をいただくためにアンケートを実施しました。その結果について報告いたします。

小国中学校では、令和3年度から男子のチームであるスポーツの部（野球、サッカー、バレーボール）の数を3から2にします。存続させるべきだと考えるを部2つ教えてください。できれば理由も教えてください。

	4年児童	5年児童	6年児童	合計	4年保護者	5年保護者	6年保護者	合計
野球	17	23	27	67	17	24	21	62
サッカー	16	20	25	61	13	24	23	60
バレーボール	4	9	5	18	6	3	7	17

○4年生20名、5年生27名、6年生29名から回答をいただきました。

○未記入及び3つに部以外の回答を除き、回答のあったものだけをカウントしました。

【主な理由】

- スポ少の加入人数が多く、その子達の行き場がなくなるのは影響が大きい。
- 現在のスポ少の人数から見ても男子のバレースポ少の在籍が少なく存続が厳しいのではないかと
思う。現在の活動人数をみても2年生が0と来年度は厳しいと思う。
- スポ少で現在頑張っている子ども達が続けられないのはかわいそうです。スポ少に加入している人
数が多い野球、サッカーを残すべきだと思います。
- 野球とサッカーは屋外だが、男子バレーは室内競技で、中学生になってからでも始めやすい競技な
ので残して欲しい。サッカーはユナイテッドで続ける道もあるが、バレーや野球は部活でなければ続
けることができないから。

様々な課題が有り、「一概には決められない」というご意見や、「今の段階で部を減らす必要があるのか。減らすことに反対する。」というご意見もありました。

【小国中学校の部活動適正化に関する意見】

4年生保護者

- 3つの部はどれも欠けてはいけない。個人競技を否定するわけではないが、楽をしたくて、または安易な考えで部活動に取り組むべきではない。田舎の子ども達が社会で貢献する大人になるためにはコミュニケーション能力をチームから学び、育つことを願っています。安易な考えと指導に問題がある。

- 部活動としての活動ができない競技などを希望する生徒へのフォロー、機会の確保について、学校、町、地域で考えていく必要があると思います。
- 苦しい選択だとは思いますが、仕方ないことだと思います。
 - スポ少との連携をもっと考えて部活動を設定して欲しい。子どもの数に対して部活動が多すぎる。少子化を考えればもっと部活をしぼるべき。余談ですが、朝練、夜練など過剰な活動をしている部もあるように思われる。

5年生保護者

- バレー部の活動は異常と思います。夜間練習、毎週の遠征、私立中学校のスポーツ学校ではないので、バレー部保護者はご苦労されてる。
- 誰がどう考えてもなくするのはバレー部でしょう。現在でも6人に満たないのであれば、早急に廃部にして他の部に移すようにしてください。そうでないと、子ども達がかわいそうだ。もし、積極的に勧誘している部顧問及び関係者がいるとすれば聞きたい。「本当にそれが正しいのか？」
 - ユナイテッドやバドミントン等、他のチームに入ると部活に入る人が少なくなるので、必ず小国中にある部活を選択して欲しい。そうしないとどんどん廃部が増えていく。ユナイテッドやバドミントン等は趣味として扱って欲しい。
 - 人数を考え、全員が出れる部活であれば良い。
 - 早急な決断を願います。子ども達の混乱を防ぐため。
- 教師の負担が大きすぎる。全ての部活動を地域スポーツにしていくべき。そして、子ども達とのふれあい、授業に力を入れるべき。
- 去年も同様のアンケートに回答しましたが、特に対策されていないように思います。男子バレー部 2年生0名、1年生5名で必要人数6名とありますが、6名未満で大会に出場できないのであれば、その時点で対応が必要なのではないでしょうか。
 - 1人でも多くの子ども達が自分で加入したい部活動ができるようにしていただきたいと思いません。

6年生保護者

- チーム競技に限らず、人数の少ない部を廃部にしたら良いと思います。
- 試合に出ることを前提にするのではなく、毎日活動すること、やりたいスポーツをさせてあげることが優先的と考え、男女合同にするとかして活動の場を狭めないであげて欲しいと思います。
- 諸外国のようにシーズン毎に様々な競技に取り組むとか、思い切って全て社会体育に移行する等の方法も検討の余地があるのではないのでしょうか。
- 子どもが減っていく状況が続くので、部活の数を減らすのはやむを得ないと思います。男子バレー部は6月現在で1年生が5人という状況の中で新人戦まで部活を存続させるのは難しいのではないかと思います。早い段階で、他の部に移るとこのほうが現実的だと思います。(生徒の考えはわからないので・・・)
- 陸上部をなくして、学校内の記録会で成績の良い選手を陸上大会に選出すれば良いと思います。
- できることなら、掛け持ちや貸し出しも良いと思います。
- 活動しているなら続けさせてあげたいが、子どもの人数がいないので部活動を少なくするのは仕方ないと思う。
- 子ども達が集中して部活動が行えるよう、環境をきちんと整えサポートして欲しい。
- 部活動は教育の一環であるから「設置部に入部することを原則」としているのだと理解している。大会に出場できないとスポーツ教育は認められないのか・・・。美術部や校外活動に大会に相当するものがあるのか知らないのになんとも言えないが、平成30年度付則事項を履行しないで本当に困るのは小国中の生徒なのか疑問である。
- 今の小学校1年生は男子が15名程度だそうで、今の少子化の状況からすると男子チーム競技部で部員減少が問題として上がることは近いうちにまたあると思う。いちごっこ対策ではなく、部活動設置の在り方を考えてみてほしいのでは。

小学校の児童、保護者の皆さんからは貴重なご意見をいただきました。7月28日(火)にはコーチ・保護者会長(1., 2年保護者代表)会を開催し、アンケート結果の報告を行い、今後の適正化の進め方についてご意見をいただく予定です。

これまで「男子のチーム競技の3つの部(野球、サッカー、バレーボール)を2つに減じる。」方針を確認し、2年以上の時間をかけ、ご理解をいただけるよう進めてきました。設置部を減ずることは苦渋の決断ですが、本校の部活動の運営のために避けては通れない道であると考えています。ご理解いただくようお願いいたします。